

Java のキャッシュクリア手順

第2版

2014年4月

ディサークル株式会社

改版履歴

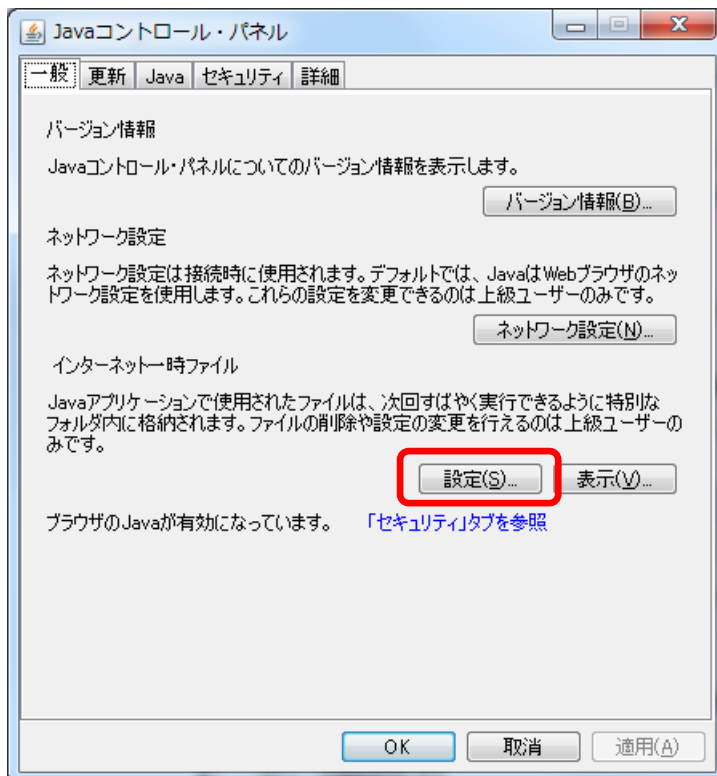
版数	改版年月日	備考
1.0	2013/03/12	初版
2.0	2014/04/17	一時保存ファイル削除の際に PC リマインダーも削除されることを明記

Java2 Runtime Environment Standard Edition (JRE) の一時保存ファイルの削除方法についてご説明します。

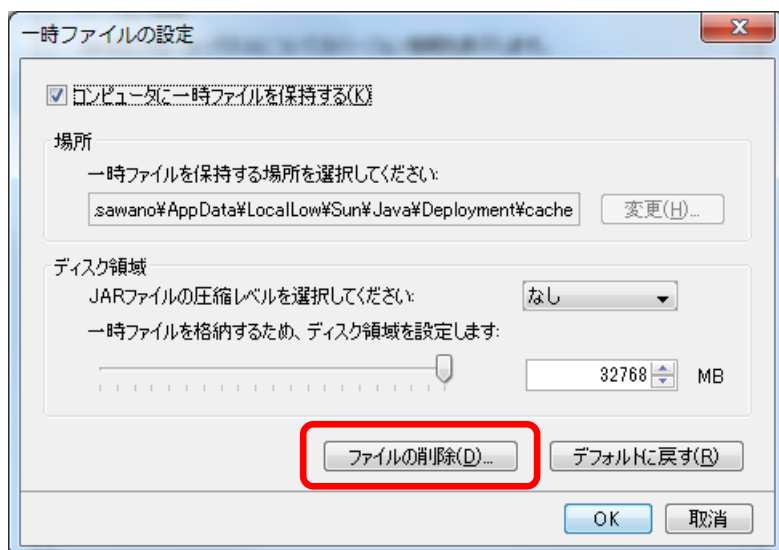
なお、以下は、Java7Update17 がインストールされた環境を参考にご説明しております。ご利用の Java のバージョンにより、若干画面イメージ等が異なる場合がございますのでご了承ください。

<操作手順>

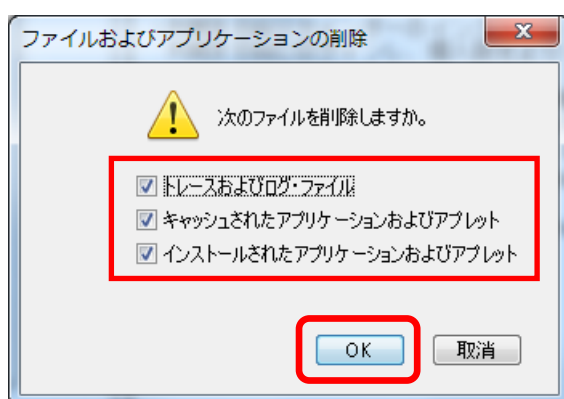
1. [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラム] より、Java のアイコンをクリックし、「Java コントロール・パネル」を起動します。
2. [一般]タブをクリックし、“インターネット一時ファイル”の[設定]ボタンをクリックします。



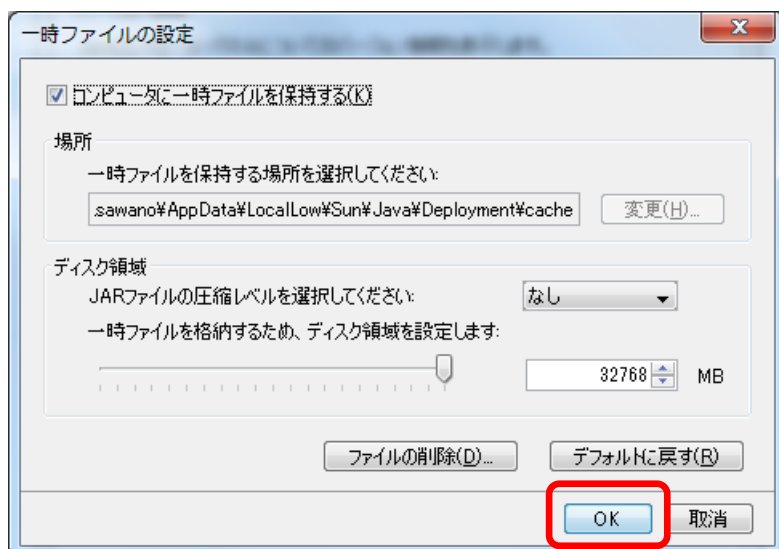
3. 「一時ファイルの設定」画面にて、[ファイルの削除]ボタンをクリックします。



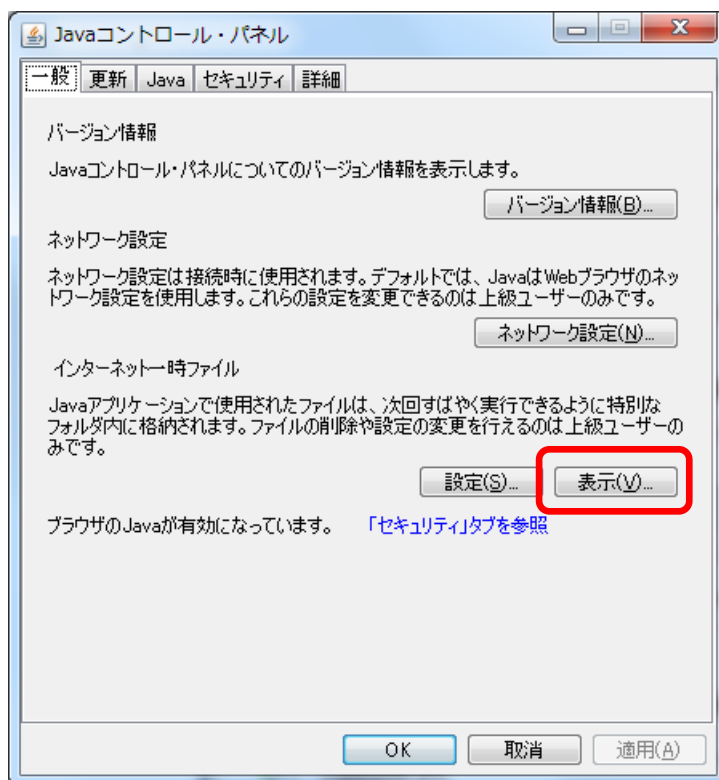
4. 「ファイルおよびアプリケーションの削除」画面にてすべての項目にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。



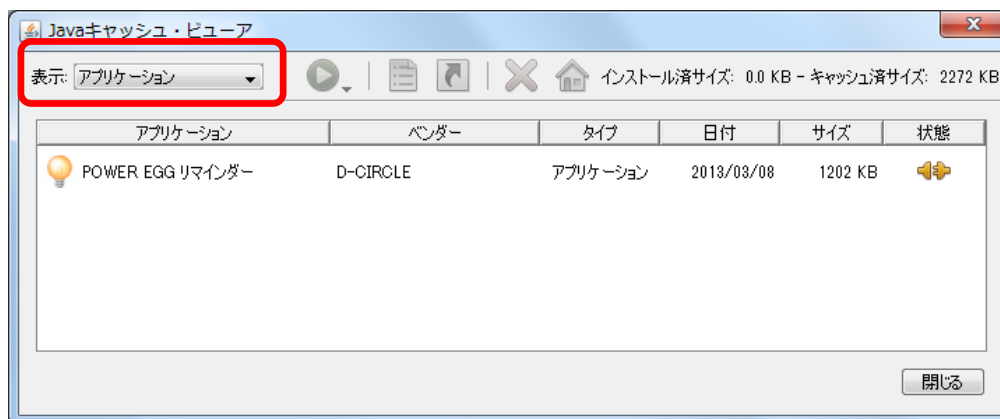
5. 「一時ファイルの設定」画面に戻ります。[OK]ボタンをクリックします。



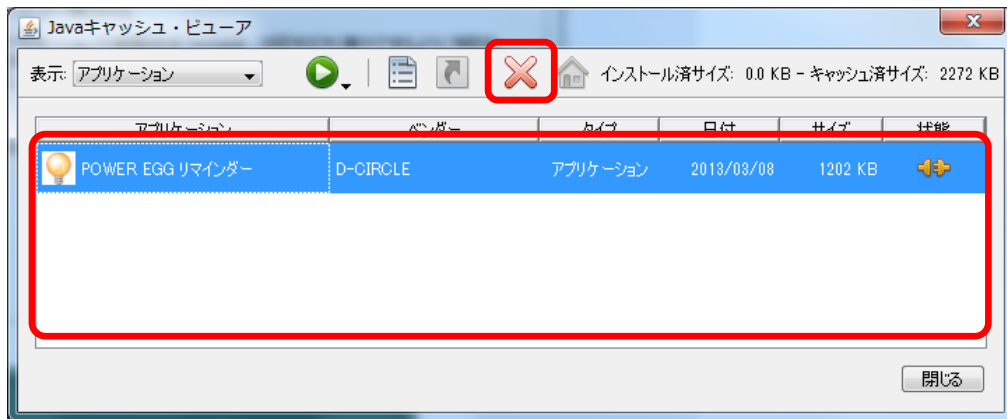
6. 「Java コントロール・パネル」画面に戻ります。“インターネット一時ファイル”の[表示]ボタンをクリックします。



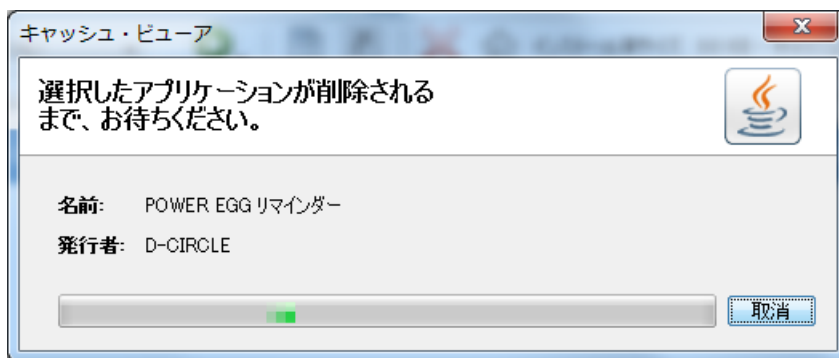
7. 「Java キャッシュ・ビューア」画面が起動します。“表示”にて[アプリケーション]を選択します。



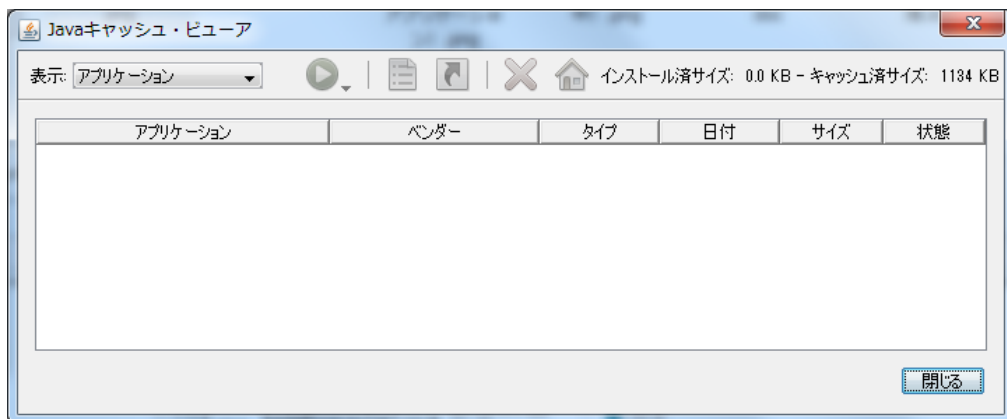
8. 一覧にアプリケーションが表示されている場合、その明細をすべて選択し、[×]をクリックします。
なお、明細を一行ずつ削除する場合は、明細を選択して右クリックし、[削除]をクリックしてください。
※一覧に明細が表示されていない場合は、次の手順へ進んでください。



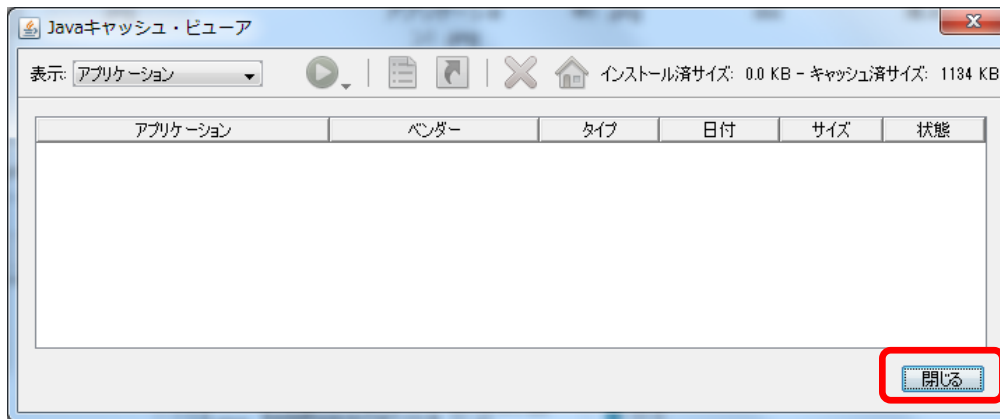
削除中は、以下のような画面が表示されます。



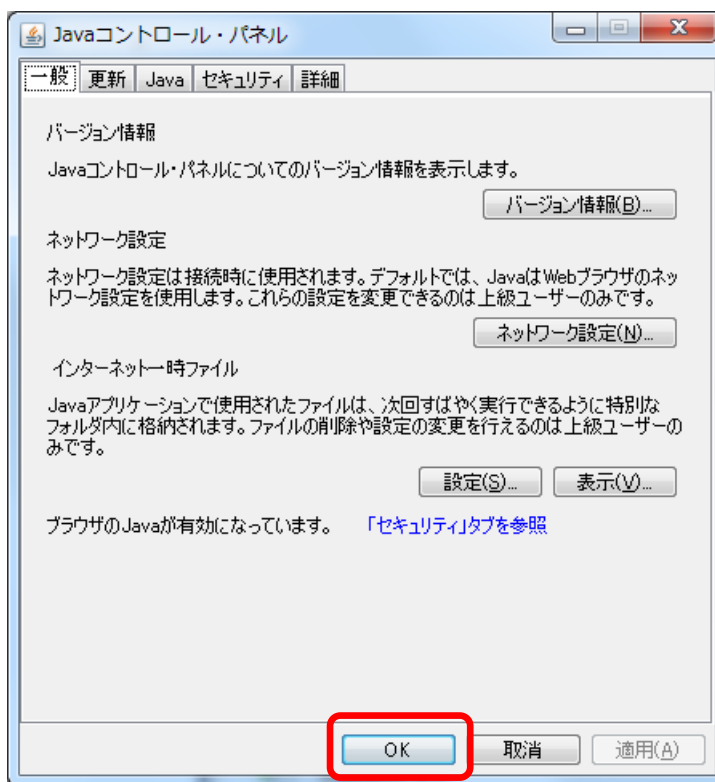
削除が完了したら、「Java キャッシュ・ビューア」画面に戻ります。



9. 「Java キャッシュ・ビューア」画面の“表示”を切り換え、すべての選択肢に対して 8.の操作を実施してください。
10. すべての明細の削除が完了したら、「Java キャッシュ・ビューア」画面の[閉じる]ボタンをクリックします。



11. 「Java コントロール・パネル」画面に戻ります。[OK]ボタンをクリックします。



以上で操作は完了です。

上記の手順で一時保存ファイルを削除すると、インストール済みの PC リマインダーも同時に削除されます。再度、PC リマインダーのインストールを行ってください。

なお、PC リマインダー削除の際には接続情報などの設定情報は削除されません(再インストール時に設定は残ったままになります)。ただし、OS のスタートアップに登録している場合は、再登録が必要です。